



「CRAZY 'BOUT MUSCLE CARS」 DODGE CHALLENGER R/T PLUS SHAKER

パワーユニットは5.7ℓ V8 HEMIで、最大出力は372hp (GMFは375hp)、最大トルクは55.3kg-m (GMFは56.7kg-m)。ボンネット中央部をくり抜いて突き出したシェイカーがこのグレードの特徴。もちろんエンジン冷却する性能を備えているが、「揺れる」かは自身で確かめて欲しい。

高性能モデルの証「シェイカーフード」を標準で搭載 往年のフォルムを再現

ホットなモデルをどこよりもいち早く日本へインポートする術に長けているオートギャラリー東京が、往年のフォルムで魅了するチャレンジャーR/Tプラスシェイカーを緊急招集!!

取材協力: AUTOGALLERY TOKYO Tel. 042-799-5222 www.autogallery.co.jp
撮影 & 原稿: 相場恒弘



ボディカラーはビレットシルバーマタリック。グリルのロゴはシェイカー仕様のみクラシックタイプがあらわれる。一体型だった先代とは打って変わって、新型のテールランプは両サイドに分けた独立型。



平面基調だった先代モデルに比べ新型のインパネ回りは抑揚を付けて躍動感を高めているだけでなく、各部操作類をドライバー側へ傾けた配置でコックピットのレイアウト。アナログタイプの2速メーター中央のモニターには、エンジン稼働時にシェイカーのロゴを映し出す。シートはスポーティなバケットタイプ、ブラック&ルビーレッドのナッツバレーサーを用い、さらにルビーレッドのステッチとシェイカーのロゴが施されている。サンルーフも装備。



装着するホイールはオプションのライトウエイトタイプで、カラーはマットブラック。サイズは20X9J。タイヤサイズは245/45ZR20。

ヘルキャットだけがチャレンジャーではない!!

マスタングを筆頭に、カマロ、チャレンジャーといったモタマン・スルエイジたちの人気は高まる一方で、ヘルキャットでも必要にして十分なパフォーマンスを備えているにもかかわらず、さらにその遙か先をいくハイパフォーマンスモデルが次々と登場し、やはり「アメ車」マツスルカ」という図式はなお健在。その流れを汲んでオートギャラリー東京では積極的にモタマン・スルエイジたちを導入中。これまでも、話題のニューマシンが入庫したと聞けば取り上げただけに読者にある読者も多いことだろう。さて今回入庫したクルマは2015年型ワグジィ・チャレンジャーR/Tプラスシェイカーだ。チャレンジャーにはV6エンジンを搭載する「SXT」から700馬力を叩き出す「ヘルキャット」までラインナップは全10種類、なかでも中核となる「R/T」には5種類を用意している背景からしても、一番力を注いでいることが分かる。ここに紹介するR/T Plus

ラスシェイカーはR/Tグレードの中では上位が二番目となる。しかし、最上位の「R/T スキップバック」は6.4ℓ V8エンジンを搭載しているため、ある意味こちらが最上位と言ってもいい。そんなR/T Plusシェイカー、やはり目を引くのはシェイカーフードだろう。2014年モデルで復活させた往年のスタイルを、2015年型以降では標準ラインナップに加えたのだ。チャレンジャーという単語はヘルキャットがらだが、R/T Plusシェイカーでも必要にして十分なパフォーマンスを備えているだけに、「コチラの魅力も捨てがたい。」